

# すがわら文仁

挑む。守る。走り続ける。

## 市長公約 特集号



# スピードと実現力でやり遂げる!

小学校・中学校の給食費の無償化



埼京線3駅へのホームドア整備へ



認知症対策の強化と成年後見の推進



上下水道など生活インフラ老朽化対策



蕨戸田衛生センターの早期復旧



防犯カメラの更新と子どもGPS購入助成



徹底した治水対策による浸水被害ゼロ



tocoバス路線の見直しと利便性向上



0～2歳の保育料を段階的に無償化



学童保育の待機児童ゼロ実現

妊婦タクシー券の配布

卵子凍結費用助成制度創設

彩湖道満グリーンパークへの宿泊キャンプ場の整備

事業総点検と役割を終えた事業や会議の廃止

ポートコース周辺リニューアルの実施

### ごあいさつ

市長就任から8年間、私は「市民にとって最善とは何か」を常に自らに問い続け、多くの課題と真正面から向き合い、その解決に全力で取り組んでまいりました。

2期目となるこの4年間は、お約束した「市民の命とくらしを守る9つの挑戦～81の公約～」を、一つひとつ迅速かつ丁寧に実行してきました。中でも「3大プロジェクト」として、子育て支援の充実、健康長寿のまちづくり、防災力の向上を前進させました。さらに、教育改革、SDGsの推進、デジタルトランスフォーメーション(DX)にも力を注いでまいりました。

今、潮目がめまぐるしく変わる世界情勢の中、日本もまた荒波に直面しています。2040年にピークを迎える超少子高齢化、物価

高騰やインフレ経済の進行、働き手不足、そして公共インフラの老朽化。これらのうねりは、確実に戸田市にも押し寄せています。

時代の風向きを変えることは容易ではありません。しかし、自ら帆を張り、風を受け止め、進むべき航路を切り拓くことはできます。

私はこれまでの経験を礎に、「14万市民一人ひとりの幸福の最大化」という羅針盤を胸に、希望と安心へ向けて市政の舵を取り続ける決意です。戸田市の未来に挑み、市民の命とくらしを守るため、情熱と責任感をもって全力で走り続けてまいります。

引き続き、皆様の温かいご理解とお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和8年2月 戸田市長 菅原文仁

9×7=63の公約は内面をご覧ください

## 01 家族に寄り添うまち戸田

- 給食で子どもを応援  
県南初となる小中学校の給食費完全無償化の実施、食育のさらなる推進
- 妊娠・出産の安心  
妊婦タクシー券の配布、妊婦の健康支援の充実、卵子凍結費用の助成
- 産後支援の強化  
産後ケアの無償化拡大、産後える事業のサービス拡大、産後うつ対策の強化
- 放課後の居場所の拡充  
学童保育の充実と「待機児童ゼロ」の実現、児童館プリムローズのリニューアル

妊娠から子育てまで、切れ目なく支える

- 保育の安心  
0~2歳保育料の段階的無償化、こども誰でも通園制度の導入、特別支援保育の充実
- 子ども・若者の伴走支援  
困窮世帯向け学習支援拠点やこどもの居場所の拡大、子ども・若者総合サイトの充実
- 子どもの健康対策  
小児救急医療の充実、健診データ (PHR) の活用、子どもの視力低下予防の推進

## 02 教育で選ばれるまち戸田

- 学びの力を伸ばす  
個別最適で協働的な学びの推進、戸田型PBLの推進、STEAM教育の充実
- 海外に挑む学び  
中学生の英検費用助成の拡大、海外留学奨学金の拡大、中学生の海外留学の実施
- 夢と挑戦を育む教育  
トップアスリートなど多彩な先生による特別授業の実施、部活動の地域展開の拡充
- 一人ひとりに合った学び  
戸田型インクルーシブ教育モデルのさらなる推進、医療的ケア児の通学環境の整備

教育日本一を目指し、子どもの主体性を伸ばす

- 安心して通える学校へ  
不登校支援のさらなる拡充、ネットを含むいじめ防止対策の強化
- 切れ目のない教育支援  
入学前学校見学会の実施、幼保小架け橋プログラムの推進、教育総合DBの拡充
- 学校施設の整備  
戸田南小学校の増築、美笹中学校の建替え、中学校武道場へのエアコン設置

## 03 人生を豊かに彩るまち戸田

- 市民が主役の文化芸術  
とだアーティストバンクの設立、市民参加型事業の実施、市所有アートの活用
- スポーツをもっと身近に  
地元チーム・アスリートとの連携強化、バスケットコートなど都市型スポーツ環境の整備
- 学び直しと人材発掘  
戸田市民大学のリニューアル、学習者交流会の実施、地域人材の活用促進
- 地域拠点の整備  
西部福祉センターの再整備と図書館の併設、東部福祉センター体育室への空調整備

文化もスポーツも、日常の居場所も

- 図書館を居場所に  
若年層向け蔵書の充実、館内カフェスペースの設置、アートギャラリーの設置
- スポーツセンターの再整備  
敷地拡大・建替えを基本として再整備計画に着手、400mトラックの設置を検討
- 水辺と花火の魅力発信  
県と連携したポートコース周辺のリニューアル推進、戸田橋花火大会の継続と魅力発信

## 04 ウェルビーイングが実現するまち戸田

- 健康寿命を伸ばす  
健幸アンバサダー1000人の養成、とだウェルネスマイルージ事業の拡充
- 介護と見守りの安心  
地域包括ケアの推進、成年後見金融包摂モデルの構築、認知症サポーター1万人養成
- 女性の健康を支える  
現役世代のがん対策や骨粗しょう症対策の推進、プレコンセプションケアの推進
- 孤立や孤独を減らす  
ひきこもり・自殺予防対策の充実、重層的支援体制による支援の充実

健康と安心、つながりで誰一人取り残さない

- 外国人政策の推進  
部局横断の外国人政策PTの設置、生活ルールブックの配布とマナー講座の実施
- 共生のまちづくり  
障害者福祉会館のリニューアル、公園へのインクルーシブ遊具の設置
- 障がい者の自立支援  
「18歳の壁」対策の実施、福祉的就労の拡大、産学官連携による一般就労の創出

## 05 365日ずっと安心なまち戸田

- 河川の治水強化  
笹目川の特定期都市河川指定、笹目川排水機場の能力向上、さくら川護岸整備の延伸
- ポートコースの治水力向上  
ポートコースの貯水能力向上、ポートコース入口樋門の整備促進
- 消防体制の強化  
東部分署の建替え実施、新たな指令センターの整備、西部分署の建替え着手
- 大規模災害対策  
「戸田市版FEMA」の充実、気象防災アドバイザーの活用、福祉避難所の拡充

フェーズフリーで、被害を最小化する備えへ

- 家庭防災力の充実  
感震ブレーカーの導入費用支援、防災ハザードブックの更新、ペット同行避難の推進
- 地域防災力の強化  
車中泊避難体制の整備、全避難所における防災訓練の実施、備蓄物資の計画的な入替え
- 見守りと防犯の強化  
防犯カメラ約400台の大規模更新、子ども見守りGPS機器の購入費助成

## 06 ライフラインの更新で快適なまち戸田

- 埼京線の安全性向上  
市内3駅へのホームドア整備の促進、JR東日本と連携した鉄道安全対策の推進
- 道路の安全対策  
通学路の危険対策の実施、街路樹等の予防剪定の推進、自転車通行空間の整備
- 水道の老朽化対策  
基幹管路の大規模更新、東部・中部浄水場の統合、安定供給に向けた経営の推進
- 下水道・水路の長寿命化  
老朽下水管の計画的な更新、持続可能な料金体系の検討、計画的な水路管理の促進

壊れる前に直す、生活インフラをアップデート

- 新曽土地地区画整理の推進  
北戸田駅西口駅前整備の完了、まちなかウォークブルの推進、公園や調節池の整備
- マンション住民の安心確保  
マンション管理条例の制定と老朽化対策の推進、ファミリー向け住宅の供給促進
- 地域公共交通の再編  
下笹目バスターミナルの整備、トコバス路線の再構築、新たなモビリティの導入検討

## 07 暮らしの質が高いまち戸田

- カーボンニュートラルの推進  
電力リバースオークションの導入、カーボンハーフの達成、SDGs共創基金の活用
- サーキュラーエコノミーの推進  
ごみ分別と資源化の徹底、分別マイスター制度の創設、フードロス対策の推進
- 持続可能なごみ処理行政  
蕨戸田衛生センターの早期復旧、再整備計画の推進、リチウムイオン電池対策の徹底
- ネイチャーポジティブの推進  
さくらそうプロジェクトの推進、彩湖自然学習センターを自然再生の拠点として刷新

ゼロカーボンの加速、公園のレベルアップ

- 受動喫煙対策の強化  
公園内の原則禁煙の本格導入、埼京線3駅前喫煙所の段階的な廃止
- 彩湖・道満グリーンパークの刷新  
水と緑の公社による宿泊キャンプ場の整備、彩湖・道満GPリニューアル計画の策定
- 公園の質と魅力向上  
計画的なトイレ洋式化、ボール遊び広場の整備、夏休みの花火使用ルールの策定

## 08 人が集まる元気なまち戸田

- 物価高から暮らしを守る  
国・県と連携した迅速な物価高騰対策の実施、インフレ対策型融資制度の創設
- 地域経済の好循環をつくる  
TODAPAY発行による市内経済の活性化、事業者と連携した戸田ブランドの開発
- ふるさと納税で事業者を応援  
市内事業者の商品・サービスの発掘、全国へのプロモーションによる納税額の確保
- 人材確保を応援  
市内就業者への奨学金返済支援制度の創設、エッセンシャルワーカー支援の検討

暮らしを守り、地域経済を回す

- 官民連携を加速  
公民連携窓口「とだらボ」の機能強化、企業や大学等との連携による新たな価値創造
- 町会・自治会を元気に  
町会の活性化推進に関する条例の制定、居場所機能としての会館の活用促進
- 戸田を盛り上げる  
戸田ふるさと祭りや戸田市商工祭の同日開催、戸田マラソンへの駅伝種目の追加

## 09 未来を拓く共創のまち戸田

- 行政DXの徹底  
生成AI等のテクノロジー導入による業務効率化の推進、DX人材の採用・育成の充実
- 情報発信や広聴の強化  
公式LINEの充実による「スマホ市役所」化、AIブロードリスニング導入の実証実施
- 公共調達の円滑化  
DXによる事務負担の削減、物価スライドによる入札不調対策、公契約条例の検討
- 事務事業の見直し  
事務事業の総点検と統廃合の推進、役割を終えた事業や不要な会議の原則廃止

行政DXと行財政改革で、自ら動く市役所へ

- 職員の育成と確保  
民間企業等との人事交流、管理職採用やアルムナイ採用等による人材確保の強化
- 外郭団体の改革  
外郭団体の活性化方針に沿った市出資団体の統合、市出資団体の経営力強化
- 堅実で健全な財政運営  
持続可能な財政の堅持、ポートレース財源の確保、基金を活用した公共事業の推進

# すがわら文仁が実現したこと

✓ **こども医療費の完全無償化を実現**



✓ **中学校給食費の無償化を実現**



✓ **待機児童ゼロ 3年連続で達成**



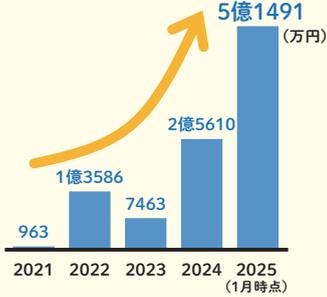
✓ **高齢者補聴器購入費助成制度の創設**



✓ **北大通りに大規模雨水貯留管を整備**



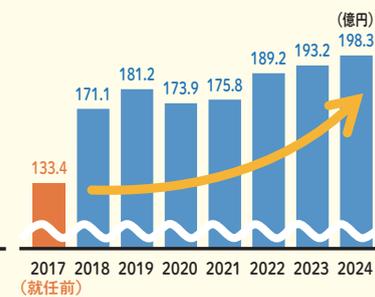
✓ **ふるさと納税額 4年で50倍超を達成**



✓ **市の借金 (市債) 7年で51億円減少**



✓ **市の貯金 (基金) 7年で65億円増加**



✓ **マニフェスト大賞 優秀賞を受賞**



✓ **戸田の先進的教育を総理大臣が視察**



- 子ども応援プロジェクト**
  - ✓ 全小中学校に電子黒板とプロジェクター導入
  - ✓ 全小中学校のバリアフリー化とトイレ洋式化100%
  - ✓ こども家庭センター設置とヤングケアラー支援の実施
  - ✓ 全小中学校に不登校支援の校内サポートルームを設置
- 100年健康プロジェクト**
  - ✓ 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成を実施 (最大2万円)
  - ✓ 産後ケアの一部無償化と産後クーポン2万円分を配布
  - ✓ がん患者の医療用補正具費助成を実施 (最大10万円)
  - ✓ 認知症サポーター1000人以上を養成
- 防災プロジェクト**
  - ✓ 県と連携したポートコースの事前放流の拡大
  - ✓ 中学生防災士の試験費用助成 (39名育成)
  - ✓ 実践的な訓練の実施 (ペット同行・水害避難・ブラックアウト)
  - ✓ 災害時自主的広域避難支援補助金の創設 (1泊5,000円)

- 安心・希望・持続可能を実現する9つの挑戦**
  - ✓ 保育士応援手当 (月額3.4万円) による人材不足対策の実施
  - ✓ 全小中学校に防犯フェンス・警備員・ネットランチャー配備
  - ✓ 住まいの防犯対策補助金の創設 (最大2万円)
  - ✓ 戸田駅西口交流広場の完成と利活用
  - ✓ 公園リニューアルで3公園にボール遊び広場を設置
  - ✓ プレミアム付き電子商品券TODAPAYによる地域経済活性化
  - ✓ 多言語のリチウムイオン電池等回収袋の全戸配布
  - ✓ 美里町との森林保全協定によるカーボンオフセットの実施
  - ✓ 広報戸田市の内容充実と全戸配布の実施
  - ✓ 全国初の生成AIガイド作成と本格的な導入
  - ✓ 戸田市が内閣府より「SDGs未来都市」に認定
  - ✓ 埼玉県個人住民税市町村表彰を受賞 (納税率アップ部門)

## 戸田から日本を動かす！ 新3大プロジェクト

これまでの3大プロジェクトで築いた成果を土台に、次なるステージへ。「こどもまんなか」「100年健幸」「防災・減災」の新3大プロジェクトを、戸田発のモデルとして磨き上げ、市民の命とくらしを守りながら、戸田市の成長を力強く加速させます。



### こどもまんなかプロジェクト

「大人目線」の支援から「こども目線」のワクワクへ

大人視点の支援から、子どもの好奇心や体験を起点とすることで、学び・居場所・相談が切れ目なく届く「チルドレンファースト」のまちをつくります。



### 100年健幸プロジェクト

健康維持から、「幸せ(ウェルビーイング)」の実感へ

運動・食・健診など心身の予防に加え、社会参加とつながりを広げ、孤立を防ぎながら「ウェルビーイング」を実感できるまちを目指します。



### 防災・減災プロジェクト

「もしも」の他人事から、「いつも」の我が事へ

平時と非常時の境目をなくす「フェーズフリー」の視点から、日常の中で備えと避難行動を定着。訓練の日常化や要支援者援護を強化し、災害時の被害を最小化します。



●菅原文仁(すがわら ふみひと)プロフィール 1975年7月30日生まれ  
美谷本小・美笹中・伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業(教員免許)、明治大学大学院修了、会社設立・経営(6年)、戸田市議(2期6年)、埼玉県議(2期7年)、戸田市長(現職)、戸田ポートレース企業団 企業長、蕨戸田衛生センター組合 副管理者、埼玉県ローイング協会 会長、埼玉県体操協会 会長、環太平洋大学 客員教授、全国青年市長会 副会長  
【趣味】読書・ランニング【家族】両親・妻・娘・息子【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」

●市政レポート104号 < 討議資料 >  
[発行] 菅原文仁後援会  
〒335-0031 戸田市本町1-21-8-1F  
メール mail@sugawarafumihito.com  
ホームページ sugawarafumihito.com